

# 令和4年度 豊前市立横武小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》学ぶ意欲をもち、基礎学力を身に付け、自分の考えを進んで伝え合う児童の育成  
 〈成果指標〉令和7年度の全国調査の標準化得点:国語104以上 算数104以上

《短期目標》知識や技能の確実な習得と、それらを適切に活用し学び合いを通して課題を解決する子どもの育成  
 〈成果指標〉令和4年度の全国調査の標準化得点:国語105 算数105以上  
 (令和5年度福岡県学力検査【中1】において、県標準化得点 国語105 数学102 以上)

## ■視点2

### 【授業づくり】

〈取組(指標)〉  
 ③授業改善につながる主題研究の推進⇒[シンプル・ビジュアル・クリアー・シェア](構造的な板書とICT機器の積極的活用)  
 ③授業の終末で本時で「何をどのように学んだか」を振り返る場の設定(週指導計画案に国語科のみ毎時間分を記入)  
 ④考えたことの原因や根拠を、ねらいに応じたペアやグループで話し合い、自分の考えを整理して書く活動の設定(毎日1回以上)  
 〈成果(指標)〉すべて4段階評定尺度による  
 ◆授業チェックリスト(「コンピュータや情報通信ネットワークを活用した学習」3.0以上・「学習過程を踏まえた構造化された板書」3.0以上)  
 ◆児童による授業評価(「毎時間の授業の最後に何を学んだかがわかる」3.0以上)(「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする授業が楽しい」3.0以上)  
 ◆授業チェックリスト(「児童自身学びの変容自覚させるための工夫」3.0以上)

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

〈取組(指標)〉  
 ②指導と評価の一体化を図るための研修  
 ③授業(「虎の巻」活用)・学力調査問題等の活用力を問う問題を出題(各学年 月1回以上)  
 ③ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業公開(1人年1回以上)  
 ⑥小中合同研修会の実施(年間3回)  
 〈成果(指標)〉  
 ◆児童アンケート(「課題の解決に3.5以上:4段階評定尺度」)  
 ◆教員アンケート(「学力向上プランに沿った指導と評価が改善に繋がっている」3.5以上:4段階評定尺度)

## 【学力基盤づくり】

〈取組(指標)〉  
 ①朝の基礎タイム:全校一斉の取組(週4回:特にC・D層児童への個に応じた丁寧な指導) 午後の帯タイム:教科書教材と関連した読書活動の充実(週4回:週1⇒統一読書)  
 ②自分たちで目標を決め、取り組み、達成感を味わう活動の設定(月1回:学級活動、年3回:代表委員会)  
 〈成果(指標)〉  
 ◆豊前市標準学力調査「読むこと」「書くこと」領域(80/100点到達児童 75%以上)  
 ◆質問紙「自分には、よいところがある」(「当てはまる」:30.0%以上)

## ■視点3

## ■視点1-①

### 【家庭・関係機関との連携】

〈取組(指標)〉  
 ⑤「ぶぜん9年なび」を活用した自学の取組と内容の改善:自主学習ノート(平日毎日提出・YUノート)  
 ①タブレットドリル等を活用した基礎・基本の定着を目指した家庭学習(3~6年の週末持ち帰り)  
 〈成果(指標)〉  
 ◆質問紙調査「家庭での学習習慣の定着」「自分で計画を立てた勉強」(全国比+0.0)

## 全国学力・学習状況調査、県学力調査及び児童生徒による授業評価等から見た「課題」

教科	国語		算数		四分位層の県との差	国語				算数				
	R3	R4	R3	R4		A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層	
全国(県)調査標準化得点	109.7		106.3			R3	-5.8	+10.7	+15.6	+20.5	+1.2	+3.4	+14.3	+19.1
						R4								

○国語「書くこと」「読むこと」に課題(R2・R3) ○算数「数と計算」「図形」に課題(R2・R3)  
 ○学力中低位層(CD層)の割合について、D層の割合が国語は増加[-6.9⇒+4.9]算数は増加[-28.7⇒+4.8]  
 ○市学調の結果、話し合いの内容を聞き取ること(R3小4・小5)書くこと(R3小5)に課題

質問紙調査等  
 ・「自分には、よいところがある」(「当てはまる」:0% 全国比-35.6%)  
 ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」(「当てはまる」:0% 全国比-24.4%)  
 ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表す」(「当てはまる」0% 全国比-26.7%)  
 ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」(「当てはまる」0% 全国比-30.3%)  
 ・「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりする」(「当てはまる」0% 全国比-33.0%)  
 ・児童授業評価「次の時間への意欲や関心が高まる場面があった」(高学年評定2.6)「授業で何を学んだのかを明らかにすることができた」(高学年評定2.8)授業チェックリスト「児童自身に学びの変容を自覚させるための工夫がなされている」(評定2.5)<4段階>

## 授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

- ①基礎・基本が定着していない児童に対する個に応じた細かい・補足的な指導が不十分
- ②主体的な目標設定、協働作業、評価・称賛の場、指導と評価の一体化を図る取組の不足
- ③主題研究を通じた授業づくりの実践研究が不十分
- ④互いの考えを出し、話し合い、自分の考えを修正し書き直す活動が不十分
- ⑤課題提示の工夫、家庭学習の内容の充実が不十分
- ⑥千束中学校区として子どもを育む意識の不足